

夏休みも終わりとなりました。この夏休み、生徒たちにとって学校を離れ日頃できないような体験をする時期でもありました。海に山に、また新しい体験にと充実した日々を送ってくれたでしょうか。

さて、いよいよ夏休みがあけての諸活動が始まりました。初秋間近とは言えまだまだ暑い日が続きます。はつらつとした生徒の姿が学校に帰ってきました。今後も部活動に学習に行事にと頑張ってくれることと思います。

前期のPTA活動では、あいさつ運動・祭りの巡視・PTA新聞の発行・各学年行事など大変充実したものでした。これも保護者の皆様方のお力によるものと感謝しています。今後ともよろしくお願いします。

皆さんのお子さんは、この休業をどのように過ごされたでしょうか。特に大きな事件・事故もなくこの休業を終えることができました。中学生としての自覚と規範意識を持って生活してくれたのではないかと考えています。お気づきの点がありましたら、ご遠慮なく学校にご連絡頂ければ幸いです。

さて、本年度より2学期制となり、9月には「前期期末テスト」「体育祭」があります。また、後期10月末には「心を伝える」も実施します。「体育祭・心を伝える」と生徒の活動による大きな行事のある時期です。また、3年生にとりましては、卒業後の進路に向けて、自分を見つめ直し、選択と実現の努力が問われる時期でもあります。生徒一人一人がこれまで学んできたことを生かし、さらに自分を伸ばしてくれればと思っています。中学校教育の1年間の中で最も充実できる時期であるとも言えます。引き続きまして保護者の皆様のご協力を宜しくお願いいたします。

体育館の耐震改修工事があります。

本校体育館の耐震と一部バリアフリー化の為に改修工事を行います。期間は9月下旬より来年の2月にかけての期間を予定しています。その間体育館の使用ができなくなります。進路説明会は安東公民館を計画しています。保護者・生徒の皆様には大変ご迷惑をおかけしますが、ご協力のほどよろしくお願いいたします。

基礎学力定着に向けて工夫・改善を行います

本校では、生徒のコミュニケーション能力の向上を通して「できた、わかったを実感させる授業」「授業に興味を持てるような工夫」などをポイントとして授業改善を進めることにしています。そのため教員4人ずつの小グループによる研修により、授業公開や研究協議を活性化することとしています。各グループの実践内容の一部を紹介します。

- ・教材と生徒、生徒と生徒の「つなぎ」の工夫。
- ・生徒同志がかかわり、いきいきと学習できる活動の工夫。
- ・教材・教具の提示により、工夫した発問をする。
- ・「伝え合う」力を育む発展的なコミュニケーション能力の育成。
- ・生徒同士が自然に関わっていけるような教材の選択や指導法の工夫。
- ・生徒の「つまずき」に応じた手だてを考える。